

# TV-NAVI JUMPER

## NST38

取扱説明書 No. : NST38-003

### 取扱説明書

この度は、BLITZ『TV-NAVI JUMPER(TV 切り替えタイプ)』をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。  
ご使用になる前に必ず本取扱説明書をよくお読みの上、正しく使用してください。

使用方法や諸注意に関しては本取扱説明書をよくお読みになった上で、正しい使用方法でご使用願います。

製品の保証については同梱の保証書をご参照ください。

**● 自動車ディーラー入庫時について**  
本製品を装着すると車両の保証や点検が受けられない場合があります。車検、点検などの目的で車両を自動車ディーラーなどに入庫する場合は、本製品を取り外してから入庫してください。

- 危険** この表示を無視して誤ったご使用をされると、身体や財産に重大な被害が発生する可能性があります。この表示を無視して誤ったご使用をされると、法律に違反する可能性があります。
- 警告** この表示を無視して誤った取り付けをされると、人が損害をうう、もしくは車及び製品の破損・故障といった物的損害の発生が想定される内容である事を示しています。
- 注意** 本製品を使用する上で知っておいていただきたい事を示しています。

### 動作上の注意事項(必ずお読み下さい)

<b>重要</b>	ルートガイダンスをご利用の場合は、必ずスイッチをノーマル状態にしてからご利用ください。
<b>重要</b>	お取り付けする機種によっては、車両メンテナンス機能が正常に働かなくなる(表示に誤差が生じる)場合がありますが、故障ではありません。
<b>重要</b>	スイッチをオンにしたときから、ナビゲーションの自車位置が狂うことがあります。スイッチをノーマル状態にし、しばらくすると正常動作に戻ります。

### 製品についてのご相談及びお問い合わせについて

製品に関するお問い合わせ、連絡は電話にて下記宛にお願い致します。

- 連絡先 株式会社ブリッツサポートセンター
- 住所 東京都西東京市新町4-7-6
- TEL 0422-60-2277

<http://www.blitz.co.jp/>

### ご使用上の注意事項(必ずお読み下さい)

<b>危険</b>	本製品は運転者以外の同乗者が、走行中にテレビを見たりナビゲーションの目的地設定をするために開発された製品です。運転者は運転中に絶対にテレビを見ないでください。また、ナビゲーションの操作及び目的地設定等も行わないでください。
<b>警告</b>	運転者は走行中にモニター画面に表示された画像を注視すると安全運転義務違反となりますので、絶対に注視しないでください。また、同乗者がいない場合に走行中テレビを映していると安全運転義務違反となりますので、走行中は絶対にテレビを映さないでください。
<b>重要</b>	テレビを見ながら走行中にナビゲーションの地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にずれが生じる場合があります。
<b>重要</b>	走行中は電波の受信状況が悪くなる為、停車時に比べてテレビの映りが悪くなります。
<b>重要</b>	走行時にTVを表示させない場合は、車両側の操作スイッチにより電源のOFFか、ナビ画面に切り替えてください。もしくは、本製品を取り外してください。
<b>重要</b>	本製品を取り付けても走行中に目的地設定は出来ません。(一部商品除く)
<b>重要</b>	本製品を取り付けても走行中TVを見ることが出来る以外の走行中の規制内容はノーマル時と一緒にです。
<b>重要</b>	本製品を使用して発生した事故・違法行為・車両の故障または損害等の責任は一切負いかねますのでご了承願います。

### 取り付け上の注意事項(必ずお読み下さい)

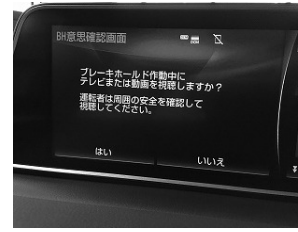
<b>注意</b>	取り付けの際には必ずエンジンを停止させ、バッテリーのマイナス端子を外し5分以上経過してから作業を行ってください。また、オーディオや時計機能などのメモリー内容が消えてしまうので、あらかじめメモを取るなどして作業完了後再度入力してください。
<b>注意</b>	車両内装のパネル及び部品等を外す場合は破損、汚損及びびじ等の粉失に十分注意して作業を行ってください。
<b>注意</b>	コネクタを外す際は、コネクタのロックピンをしっかりと押さえて、まっすぐに引き抜いて下さい。無理に引っ張るとテレビチューナーユニット、オーディオユニット、ナビコントロールユニット内の基盤が破損したり断線する恐れがあります。
<b>注意</b>	ハーネスの接続は車種別適合表をご確認の上お買い求めください。ハーネスの接続はコネクタがカチッと音がするまでしっかりと差し込み接続不良を起こさないよう注意してください。
<b>注意</b>	本製品は車両側の適切な場所へテープ・タイラップ等で固定してください。固定しないと接続不良を起こしたり、配線の断線の原因になる恐れがあります。
<b>注意</b>	取り付けの際には、シートレール、ペダル類、ドアなど可動部にハーネス類や本体を挟み込んだり、また挟まれる可能性がある場所には絶対に設置しないで下さい。製品の破損や断線による事故、火災、感電等の恐れがあります。
<b>危険</b>	取り付け終了後に走行テストを行う際は、必ず助手席に人を乗せ、助手席の方がテストを行ってください。
<b>注意</b>	アース線の接続を必要とする場合、アースが不十分だと本製品は正常に動作いたしません。確実にアースを取るようにしてください。
<b>重要</b>	あらかじめ取り付けを行う車両の内装脱着要領の資料を入手し、慎重に行ってください。

### スイッチ切り替えについて(必ずお読み下さい)

<b>注意</b>	スイッチが消灯している(ノーマル状態)ではノーマルと同じ状態ですのでテレビの視聴や、ナビの目的地設定も出来ません。また、エンジンを切った後に、再度エンジンを始動した場合は必ずノーマル状態(スイッチ消灯)になります。
<b>注意</b>	スイッチを本体へ接続しなければ、走行中にテレビを映したり、ナビの目的地設定をすることが出来ません。
<b>注意</b>	TVを見ながら走行中に地図画面へ切り替えると、車両の現在位置と地図上の自車位置にずれが生じている場合があります。その場合は、スイッチをノーマル状態にして暫く走行してください。GPSを感知して自動的に補正され、正規の自車位置へ復帰します。停車中はほとんど補正が効きませんので、必ず走行してください。

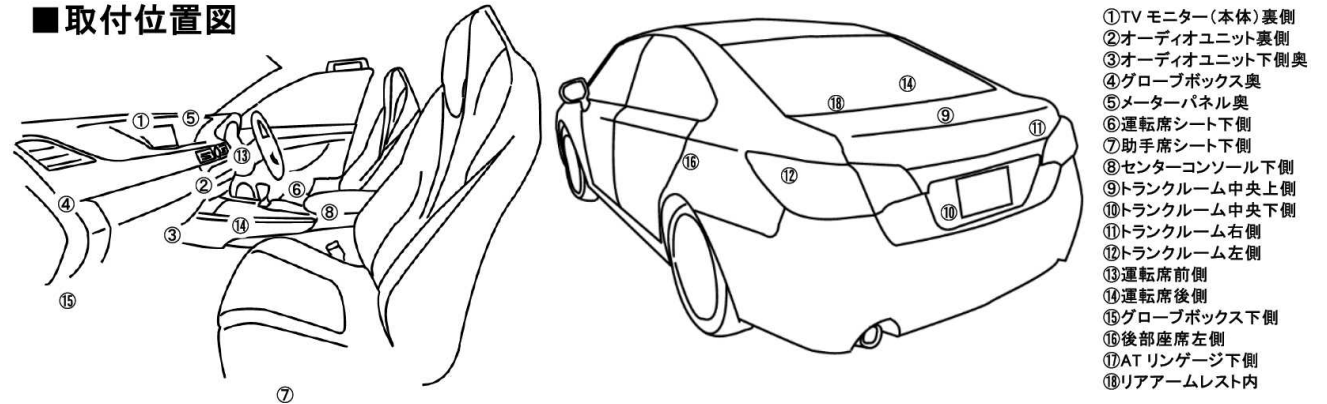
### ● BH(ブレーキホールド)での注意

適合車両には標準装備でブレーキホールド(以下 BH)が装着されています。BH 使用時、下記のような確認画面が表示されますが、ナビ側の「設定・編集」の「オーディオ」タブ内の「映像設定」から、再表示しないように設定できます。詳しくは、車種それぞれのナビゲーションシステム取扱書をご確認ください。



### ナビゲーションコンピュータ&AVコンピュータ配置図(ハーネス取り付け位置)

#### ■ 取付位置図

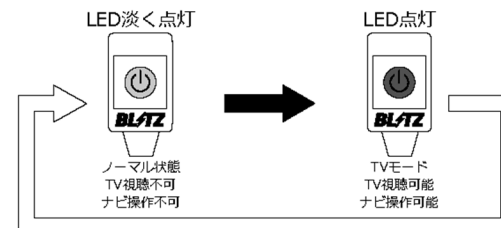


#### TV-NAVI JUMPER キット内容

- ・本体ユニット × 1
- ・コンパクトスイッチ、パネル × 1
- ・TV ハーネス × 1
- ・圧接形中継コネクタ × 7
- ・両面テープ × 1
- ・取扱説明書 × 1

### TV-NAVI JUMPER (TV切り替えタイプ) スイッチ操作手順

※ コンパクトスイッチアダプターを取り付けた際のスイッチイラスト図になります。

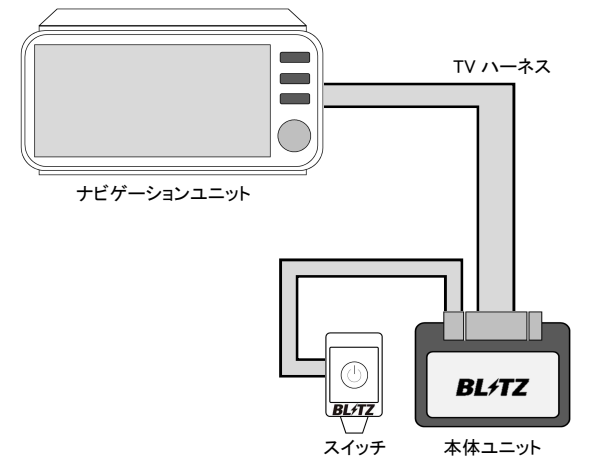


### ハーネス別注意事項(必ずお読み下さい)

**● バッテリーマイナス端子取り外し時の注意**  
本製品の取り付け、取り外しの前にセキュリティの契約、設定状況を確認していただき、セキュリティ解除の手順を行ってください。解除を行わなかった場合には、誤動作や誤通報が起こる可能性があります。解除方法については車両取扱説明書または車両販売店にて確認してください。

**● 走行中のTV画面切り替えについて**  
走行中に現在地表示からテレビ画面に切り替える際、「TV」ボタンを押しただけでは、テレビ表示にうまく切り替わらないことがあります。そのときは「TV」ボタンを押した後、「オーディオ」ボタンを押し、画面をチャンネル切り替えの画面に切り替えた後に画面右側のテレビ小窓表示画面をタッチして全画面表示にしてください。また、ステアリングスイッチの「MODE」ボタンでの切り替えであれば、テレビ画面の全画面表示に切り替えることが可能です。※画面上の「全画面」ボタンはグレアアウトしておりタッチできません。※全画面表示にしないと自動的に現在地表示に戻ります。

**● 取り付け作業における注意事項**  
本製品の取り付け作業を行うと、ナビゲーションにインストールされている電子取扱書が消去されます。本製品の取り付け作業終了後にナビゲーションシステム取扱説明書に同梱のインストール操作要領を参照し、電子取扱書をインストールしてください。



※ 本体のデザインがイラストと異なる場合があります。※ デザインは予告無く変更する場合があります。

## RC300・RC300h・RC350・RC F (17/11- ASC10/AVC10/GSC10/USC10)

- ① バッテリーのマイナス端子を外してください。
- ② かん合 (3 か所) を外し、後方に引き、インストールメントフィニッシュパネル (運転席側・助手席側) を取り外してください。(図 A)
- ③ ボルト (2 か所) かん合 (5 か所) を外し、フロントパネルガーニッシュ (運転席側・助手席側) を取り外してください。(図 B)
- ④ コンソールパネルの運転席側にあるボルト (1 か所) を外してください。(図 C)
- ⑤ しっかりとサイドブレーキをかけ、シフトロックを解除してシフトレバーを N レンジに入れてください。(図 D)
- ⑥ シフトノブをネジを緩める方向に回し、ノブを取り外してください。
- ⑦ コンソールパネル後方からかん合 (14 か所) を外し、コンソールパネルを浮かせてください。  
その状態で、パネルを後ろに引き前側のかん合 (2 か所) を外し、コンソールパネルを取り外してください。(図 E)
- ⑧ ボルト (4 か所) とかん合 (4 か所) を外し、ラジオレシーバー Assy を引き出してください。(図 F)
- ⑨ ハーネス接続方法を参照し、TV JUMPER のハーネスを接続してください。
- ⑩ 適当な場所に本体ユニットを収納し、ラジオレシーバー Assy を戻してください。
- ⑪ 配線が濡れていたり、金属部分に接触していないかを確認してください。
- ⑫ 取り外しと逆の手順で内装を戻してください。
- ⑬ バッテリーのマイナス端子を接続し、本体の動作確認を行い、問題がなければ終了となります。



図 A



図 B

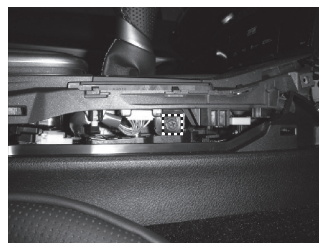


図 C



図 D

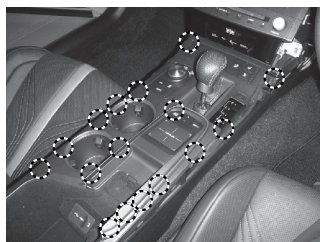


図 E



図 F

## クラウン (18/06- ARS220, AZSH20, AZSH21, GWS224)

- ① バッテリーのマイナス端子を外してください。
- ② かん合 (4 か所) を外し、インストールメントフィニッシュパネルカバーを取り外してください。(図 A)
- ③ 図 A のカバーを外したところから見えるボルト (2 か所) を外してください。(図 B)
- ④ かん合 (2 か所) を外し、インストールメントフィニッシュプレートを手前に引き取り外してください。(図 C)
- ⑤ 図 C のプレートを外したところから見えるボルト (2 か所) を外してください。(図 D)
- ⑥ かん合 (8 か所) を外し、コントロールパネルとラジオレシーバーを Assy で引き出してください。(図 E)
- ⑦ ハーネス接続方法を参照し、TV JUMPER のハーネスを接続してください。
- ⑧ 適当な場所に本体ユニットを収納し、ラジオレシーバー Assy を戻してください。
- ⑨ 配線が濡れていたり、金属部分に接触していないかを確認してください。
- ⑩ 取り外しと逆の手順で内装を戻してください。
- ⑪ バッテリーのマイナス端子を接続し、本体の動作確認を行い、問題がなければ終了となります。



図 A



図 B



図 C



図 D



図 E



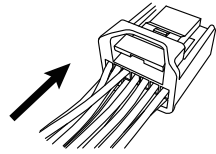
# ハーネス接続方法

- ① ラジオレシーバー Assy から中段の 28 極と 30 極のコネクタを抜いてください。(図 A)
- ② 配線図イラストを参考に TV ハーネスを車両側ハーネスに接続してください。(図 B)
- ③ 30 極コネクタ側のハーネスは、車両側ハーネスを使用しませんので、圧接形中継コネクタを取り付け、絶縁し、車両ハーネスに束ねてください。
- ④ 圧接形中継コネクタの接続方法は右図を参照してください。
- ⑤ 配線の接続が終了したら、28 極と 30 極のコネクタをラジオレシーバー Assy に差し込み、戻してください。

図 A

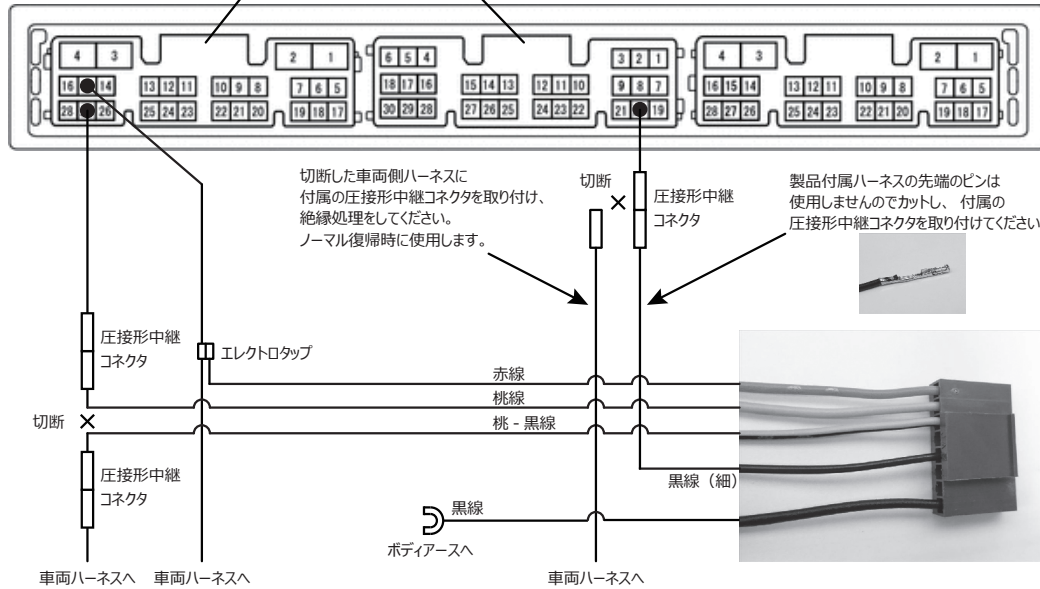


28 極コネクタ 30 極コネクタ



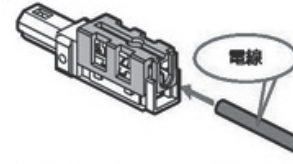
コネクタを矢印の向きに見て配線位置を確認してください。

図 B



# 接続方法

## 1 電線を挿入します

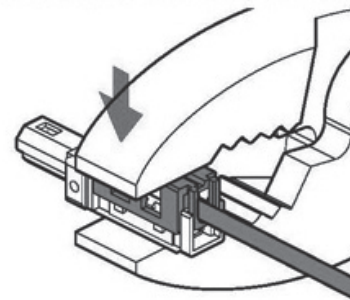


電線

電線は奥に突きあたるまで挿入してください。

## 2 電線を接続(圧接)します

注意) プライヤは口開きを広くした状態でご使用下さい。



確実にロック(両サイド計4ヶ所)されていることを確認してください。